

2019 年度学生生活調査（学修時間・行動調査）報告書

2020 年 4 月 9 日

医学部 I R 室

1. 調査概要

1-1. 調査目的

本学医学部学生の学修・生活に関する実態を調査することを目的とした。

1-2. 調査項目

調査項目は、生活時間（学修時間、行動調査）について、独立行政法人日本学生支援機構「学生生活調査」を参考にして作成した。

1-3. 調査対象

医学部 1～4 年生 476 名を対象とした。

1-4. 調査方法

2019 年 10 月 25 日～12 月 20 日において、講義後にマークシート形式で実施した。

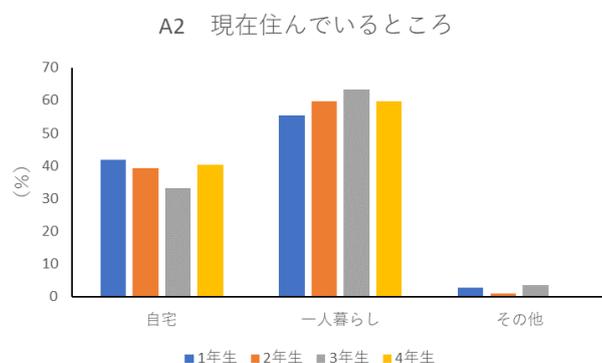
1-5. 回答者数と回収率

1 年生から 4 年生まで 451 名が回答した。内訳は、1 年生が 123 名（回収率 97.6%）、2 年生が 112 名（回収率 89.6%）、3 年生が 112 名（回収率 99.1%）、4 年生が 104 名（回収率 92.0%）であった。

2. 結果

I. 住居

住居（A2）に関しては、一人暮らしが 62.3%、自宅が 36.6%であった。



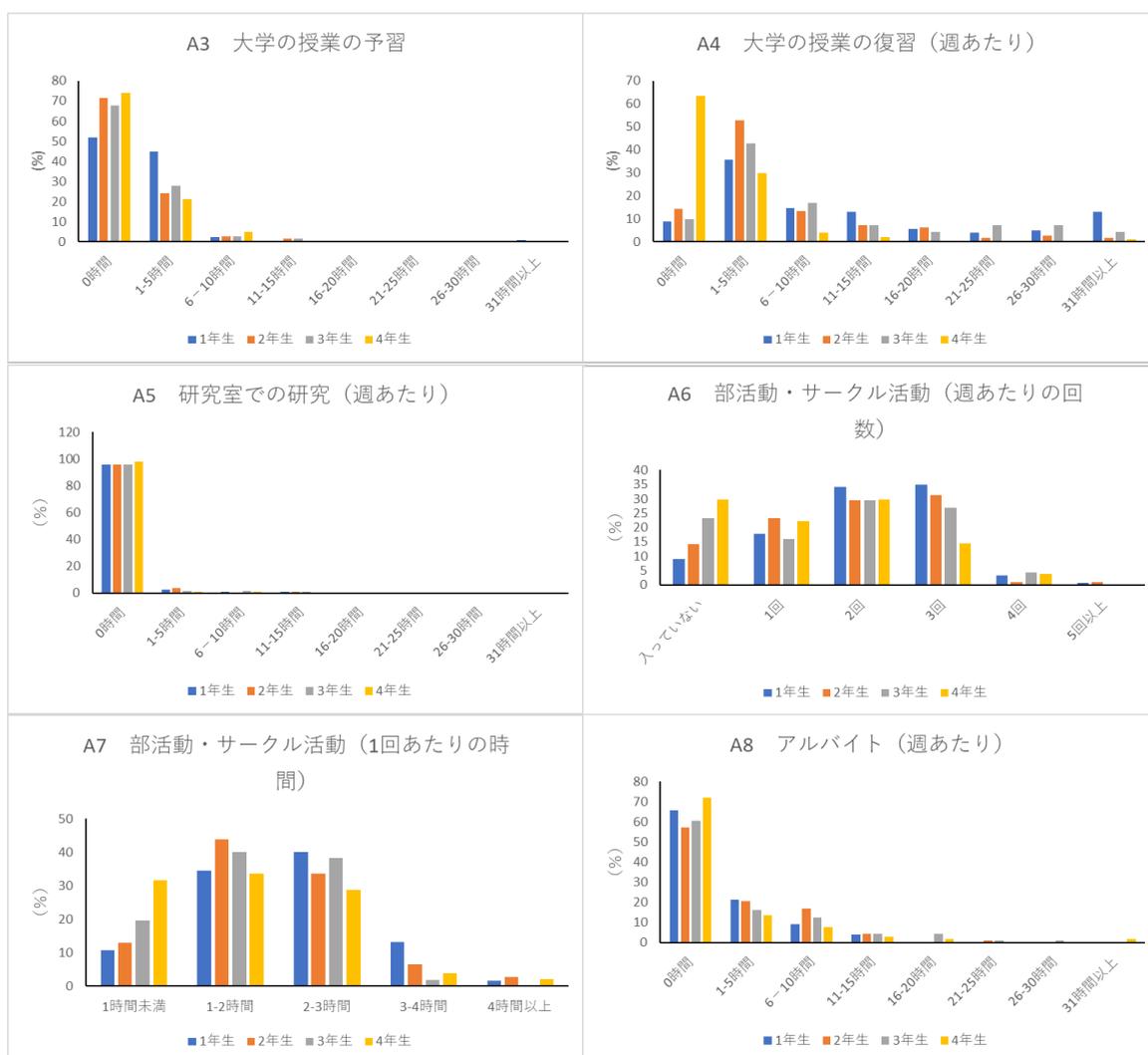
II. 学生生活の状況

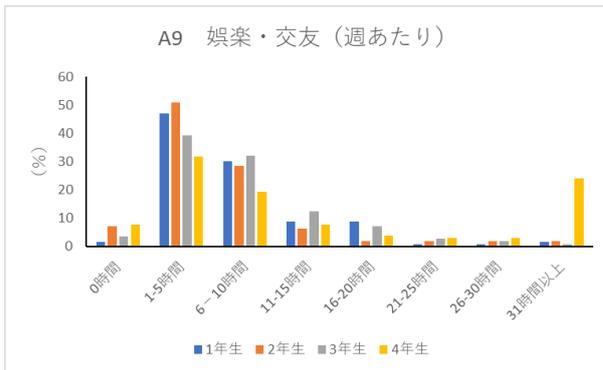
授業の予習にかかる時間（週あたり）（A3）は、0時間が65.9%、1～5時間が29.9%、6～10時間が3.1%であった。復習にかかる時間（週あたり）（A4）は、0時間が23.1%、1～5時間が40.4%、6～10時間が12.4%であった。4年生に関しては、63.5%の学生が復習にかかる時間を0時間と回答した。研究室での研究（週あたり）（A5）は、0時間が96.2%であった。1時間以上（週あたり）研究を行っている学生は3.8%であった。

部活動（A6, A7）については、18.6%の学生が部活に入っておらず、77.8%の学生は、1～3回の部活動を行っていた。また、1回あたりの時間は、1～3時間で73.7%であり、3時間以上は8.0%であった。

アルバイト（A8）については、0時間が63.9%、1～5時間が18.0%であった。16時間以上の学生は2.6%であった。

娯楽・交友（A9）については、1～5時間が42.6%と最も多かった。4年生においては、24.0%が31時間以上と回答した。

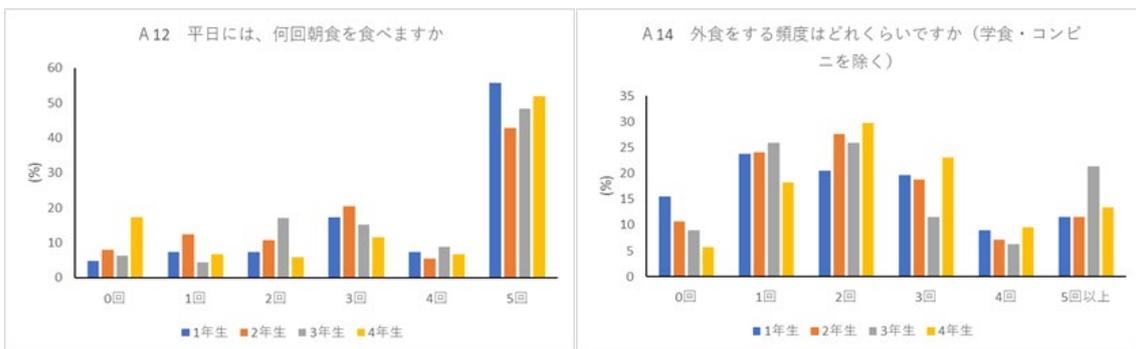




III. 食習慣

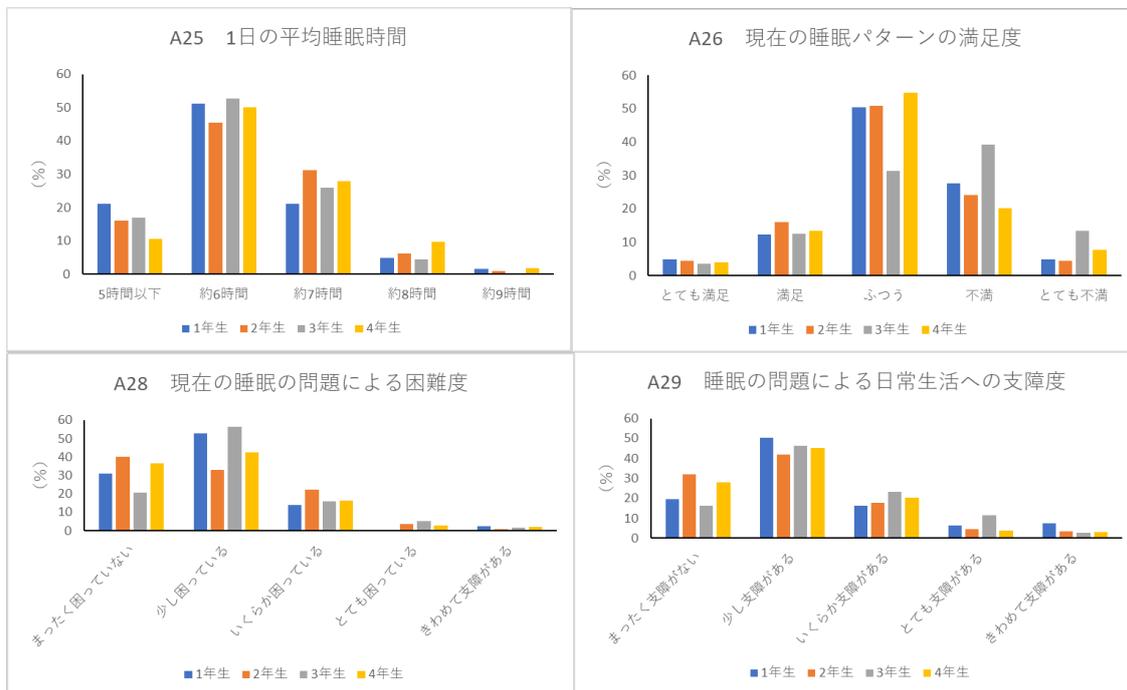
朝食の摂取状況(A12)は、平日5回と回答した学生は、1年生55.7%、2年生42.9%、3年生48.2%、4年生51.9%であった。0回と回答した学生は、1年生4.9%、2年生8.0%、3年生6.3%、4年生17.3%であった。

外食の頻度(学食・コンビニを除く)(A14)が5回以上の割合は、1年生11.5%、2年生11.6%、3年生21.4%、4年生13.5%であった。



IV. 睡眠について

睡眠時間(A25)は約6時間の人が49.9%と最も多く、5時間以下の割合は16.4%であった。学年別の睡眠時間5時間以下の割合は、1年生21.1%、2年生16.1%、3年生17.0%、4年生10.6%であった。また、現在の睡眠時間の満足度(A26)においては、「不満」と回答した学生が27.9%であり、「とても不満」とする学生は7.5%であった。睡眠の問題による困難度(A28)であるが、「とても困っている」および「きわめて困っている」と回答した割合を合計すると4.7%であった。また、睡眠の問題による日常生活への支障度(A29)は「とても支障がある」および「きわめて支障がある」が10.9%であった。



3. まとめ

今回、学生生活調査を実施し、医学部1年生から4年生の生活実態を調査した。学生生活に関しては、授業の予習にかかる時間（週当たり）が、0時間と回答した学生が65.9%であり、復習にかかる時間（週当たり）では、0時間が23.1%であった。また、18.6%の学生が部活動には入っておらず、77.8%の学生は週1～3回を行っていた。娯楽・交友の時間（週当たり）に関して、4年生の24.0%が31時間以上と回答した。

睡眠時間については、5時間以下の割合は16.4%であり、学生の35.4%が睡眠に対して不満と回答していた。引き続きデータを取得することで、生活調査（学修時間・行動調査）に関する経年変化を検討する。